

第1回浜田圏域県管理河川に関する減災対策協議会 議事概要

1. 日 時 : 平成29年5月16日(火) 10:00~11:30

2. 場 所 : 島根県浜田合同庁舎1階石見地域振興室

3. 出 席 者

(協議会委員)

浜田市 : 浜田市長(代理 副市長)

江津町 : 江津市長

国土交通省 : 浜田河川国道事務所長

気象庁 : 松江地方气象台長(代理 次長)

島根県 : 浜田県土整備事務所長

(オブザーバー)

国土交通省 : 中国地方整備局河川部

島根県 : 防災部防災危機管理課

島根県 : 土木部河川課

4. 協議会構成員 挨拶

5. 議題

1) 設立趣旨(案)の確認

2) 規約(案)の確認

3) 議事

(1) 「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく取組

(2) 現状の水害リスク情報や被害を軽減するための取組状況の共有

(3) 減災のための目標(案)

(4) 今後の進め方(案)

6. その他(情報提供)

防災気象情報の改善の取り組み、地球温暖化予測情報第9巻の概要

7. 議事結果

設立趣旨(案)、規約(案)、減災のための目標(案)、今後の進め方(案)について、協議会構成員の賛同を頂いた。

8. 意見交換概要

【江津市長】

国管理河川については、洪水浸水想定区域図（想定最大規模降雨）が既に示されているが、県管理河川では未だに洪水浸水想定区域が示されていないのが現状。早急に浸水想定区域を示すのが肝要であり、それを基に地元で具体的な取り組みを進めることが必要と考える。

敬川、八戸川については、（計画規模降雨での）浸水想定区域図も示されていない。5年間の取り組みで洪水浸水想定区域図を作成するのでは遅すぎると感じる。

【浜田市副市長】

平成25年浸水を含め過去には大きな被害を受けており、河川の減災対策は喫緊の課題と考えている。浜田市で既に作成しているハザードマップと、今後、県で作成される1000年に一度の降雨と言われる洪水浸水想定区域との整合をどう図っていくかを考える必要がある。